

国語 小学校 1年

単元名 よく見てかこう
「しらせたいな、見せたいな」
光村図書「こくご 一下」

単元の流れ（全8時間）

【第1次】＜課題を設定し、取材する＞

- ◇第1時 知らせたいことを決める
 - ・学校にいる生き物や、学校で見つけたものについておもしろいと思ったことなどを話し合い、家の人に知らせたいことを決める。
- ◇第2時 知らせたいことをカードに書く
 - ・実際に見に行き、カードに絵と短い言葉で書く。

「活用」の力育成のために
実際に見る、聞くなど、実生活の体験の中でことばを使う場面を設定する。

【第2次】＜構成を考え、記述、推敲する＞

- ◇第3時 教科書の作例を読み、組み立てを考える。
 - ・カードの内容が作例にどのように書かれているか考えて、自分が書く順序を決める。
- ◇第4時 カードを基にして、文章を書く。（本時）
 - ・1番目に書くことをノートに書いて、隣の人と見せ合って気付いたことを話し合う。
 - ・文章を最後まで書く。
- ◇第5時 文章を読み返し、間違いを直す。
 - ・「、」「。」の付け方をたしかめる。
 - ・自分の文章を読み直し、間違いを直す。

「活用」の力育成のために
書いた文章を人に伝える活動を数多く経験させることで、書くことへの意欲を育てる。

【第3次】＜交流する＞

- ◇第6時 書き上げた文章を読み合って交流する。
 - ・書いた文章をグループ内で声を出して読み合う。
 - ・感想などを話し合う。
- ◇第7・8時 家で見つけたことなどを友達に知らせる文章を書く。
 - ・家庭学習で書いてきたカードを基に、文章を書く。
 - ・学習を振り返って、できるようになったことや、感じたことなどを交流する。
 - ・評価問題に取り組む。

単元目標

○知らせたいことや見せたいことを考えながら相手に分かるように書く。

単元構成の意図

書こうとする題材に必要な事柄をよく観察して、順序を考えて書くことを目標とした単元である。

まず、書く対象を実際によく観察して、カードに絵と言葉で書き留める活動を丁寧に行う。その後、作例を参考にし、順序を考えて書くことを理解させ、順序に即して少しずつ書き進める。手順を踏んで文章を作成していくことで、全ての児童が確実に文章を書く力を身に付けられるようにする。

また、第3次に、同じ方法を用いて再度文章を書くことで、身に付けた力を活用させ、より確実なものにする。

カードに書かれた絵や言葉が、作例の中でどのように書かれているか、線で結んだり、記号を付けたりして確かめるようにする。

「活用」の力を育てるポイント

学習で体験した方法を再度自力で試してみることが重要である。そのためには、「書く方法」を具体的に認識できるような授業展開が求められる。

本時の流れへ

授業展開例へ

HOME

評価問題